2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生化学系分野	消化器病態生化学特論Ⅱ	塩谷 昭子

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

消化器疾患に関する臨床研究および基礎研究を実践するために，消化器疾患の適切な診断法・治療法を学ぶ。

授業到達目標

（1）研究課題となる疾患の病態・疫学を理解する。
（2）研究課題となる疾患の診断・治療を理解する。
（3）対象疾患の解明すべき問題点を明らかにする。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	月 1 回	月	16:00-17:00	大澤 元保 森田 周子	その他	内視鏡画像カンファレンス	内視鏡画像について検討を行い、研究対象となる疾患についての知識を深め、検体の採取方法および処理について学ぶ。 [場所:本館棟 6 階カンファレンス室 5]
2	毎週	火	17:00-19:00	塩谷 昭子 塩見 達志 松本 啓志 遠藤 俊治 大澤 元保 東田 正陽 矢野 修也 森田 周子	その他	[症例検討会]	消化器カンファレンス （内科・外科・病理による） [場所:本館棟 5 階カンファレンス室 3]
3	毎週	木	13:30~14:00	仁科 惣治 吉岡 奈穂子	その他	[症例検討会]	消化器カンファレンス [場所:中病棟 14 階カンファレンス室]
4	隔週	木	17:00~17:30	吉田 浩司 上野 富雄 岡田 敏正 河瀬 智哉 太田 啓介	その他	[症例検討会]	消化器カンファレンス （内科・外科・病理・放射線科による） [場所:中病棟 14 階カンファレンス室]
5	毎週	木	15:30~17:00	塩谷 昭子 仁科 惣治 吉田 浩司 河瀬 智哉	その他	[症例検討会]	消化器カンファレンス　病棟回診後　入院症例カンファレンス [場所:中病棟 14 階カンファレンス室]

評価方法

（1） 1 年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

カンファレンスで検討された消化器疾患について学び，研究の課題について指導を行う。

教科書

ISBN-9784315520620，細胞の分子生物学（第 6 版），中村桂子・松原謙一（監訳），青山聖子 他（翻訳），ニュートンプレス, 2017

参考書

国内・欧米学会から発行されている月刊英文誌，消化器病学会誌，内視鏡学会誌，Gastroenterology, GUT, Gastrointestinal Endoscopy など

準備学習（予習・復習等）

（1）抄読会で取り上げる英文論文および関連英文論文について PubMed で検索し，2 時間以上の予習を行い内容について理解しておく。
（2）抄読会あるいは検討会で指定された事項について次回までに約 30 分の復習を行う。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

臨床研究の課題となる疾患のデータ収集を行う前に，倫理委員会の申請書類の作成を行う。